

小学校外国語活動研究部 研究報告（概要）

研究主題 『英語学びノート』を活用した小学校外国語活動授業の提案について

概要説明 市の基本方針のもと、平成23年度完全実施に向けて、市内すべての小学校において、外国語活動の実施が本格化した。しかし、教師の理解度やモチベーションに差異があり、不安や戸惑いをもったまま実践にあたっているというのが現状である。一方、教師の不安を解消するためのコンテンツも多く出てきている。

そこで、数あるコンテンツの中から、所沢オリジナルであり、活用法を含めその開発に大きな可能性を持つ『英語学びノート』を使って、教師の不安を解消または軽減できる授業提案を行う。提案は、指導資料冊子の形にして、市内各小学校の教室まで届くようにする。また、各学校の必要に応じて容易に加筆・修正ができるように、電子データでも資料を提供できるようにしていくことを目指す。

本研究のキーワード

- 『英語学びノート』
- 不安の解消
- 円滑な移行
- 授業提案…「英語ノート」の学習活動に『英語学びノート』を生かす
- 指導資料…教師がすぐに使えるもの、使ってみようと思える指導資料を作成する

I 研究主題

『英語学びノート』を活用した小学校外国語活動授業の提案について

II 主題設定の理由

「各小学校とも平成21年度5・6年生で20時間程度は実施」という市の基本方針のもと、市内の小学校でも、新学習指導要領に新設された小学校外国語活動の先行実施が本格的になっている。これにより、ある学校では35時間、別の学校では5時間程度といった実施上の学校間差は、急速に解消し、平成21年度は市内32校において、19時間以上の実施状況である。また、平成21年度より、AETの小学校派遣回数を増加し、円滑な移行に向けての市教委としての支援体制も充実してきており、均一に整いつつある。

一方、教師が疑問や不安・戸惑いをもったままスタートし、外国語活動に対する教師の理解度・モチベーションがまちなま実践にあたっている現状がある。実際に行われている授業内容の差異は、ここで大きく現れたといえるだろう。「各学校20時間以上」という実質的なスタートを切っただけに、授業の質的な差を早急に縮めていかなければならない。

その差を縮める上で大きな障壁となるのは、従来から指摘されていることだが、「教師自身の英語力（発音や語彙）への不安」である。「英語ができなくても大丈夫」と言われ、頭ではわかっている、どうしても躊躇してしまう。生活科や総合的な学習の時間の導入期にあったような指導経験のない新たな教科への不安に、自分自身が十分に習得しているとは思えない英語を自ら発話し、指導しなければならないという不安が加わるとなれば、教師が抱く不安はこれまでにないほどに大きく、二の足を踏んでしまうことも容易に理解できる。

これに対し、文部科学省発刊の「英語ノート」を筆頭に、教師の不安を解消するためのコンテンツも多く出てきている。職員の朝の打ち合わせの時間に簡単な英単語や英会話を声に出し、英語を発話することに教師自身が慣れていくための取組や電子黒板等の様々なコンテンツを有効に活用していく研修も見られるようになってきた。

先に述べた、授業の質的な差を縮めていくという課題を解決する上では、教師が不安を抱え

たまま実践にあたっている一方、有効なコンテンツも実は多くあるという2つの現状について一刻もはやく両者の距離を縮めていくことが、今、最も重要なことである。本研究部においても、その一役を担い具体的なアクションを起こしていくことが有益な在り方であると考えた。そして、①平成20年度から大きく内容を改善していくためのプロジェクトが始動したが、活用法の開発に大きな余地があること、②日ごろ触れ合っているAETが出演者であったり、所沢ならではの地域教材や内容が盛り込まれた題材で構成されていたりすることの2点から、所沢市独自の『英語学びノート』を、教師の不安を解消または軽減するための活用法を開発するコンテンツとし、本研究主題を設定した。

提案内容はもとより、提案の形式についても、市内の小学校そして各学級に広がっていくような実践的で実用的なものとしていきたい。

Ⅲ 研究の内容および方法

1 研究の方向性

主題設定の趣旨からも、本研究では、成果としての資料を各学校に届けるだけでなく、教師がすぐに使えるもの、使ってみようと思えるものを作り、それを教室まで届けることを目指したい。提案の形式としては、マニュアル資料を作成し配布していくことに加え、電子データのやりとりで資料を容易に入手でき、作りかえられるようにしていく。

一方で、便利なマニュアルができればできるほど、実践の質は平均値的なところで画一化し、新しいものや独自のものを見出そうとする活力が薄れていってしまうという側面もある。もちろん、本研究部の試行的な提案でそこまでの影響を及ぼすことは考えられないが、現在あるコンテンツを有効且つ便利に使えるような授業の提案をすると同時に、授業で行うアクティビティ（タスク）については、一層の工夫を加え、提案していく。日常的な場面を設定し、自然な発話につながる活動の工夫を行い、効果を検証していくようにする。

これにより、教師の不安を解消または軽減するために、『英語学びノート』を有効に活用していくことができる。また、提案資料を、容易に加工できる電子データでも提供することで今後、小学校で、必要に応じて、工夫改善し、独自の指導計画をつくりやすくと考えている。

2 研究の内容と手順

本研究部では、上記までにふれた研究内容に加え、小学校毎の実践内容の差を縮めていく上で関連して解決を図るべき課題を含め、以下の内容と手順で研究を進めていく。

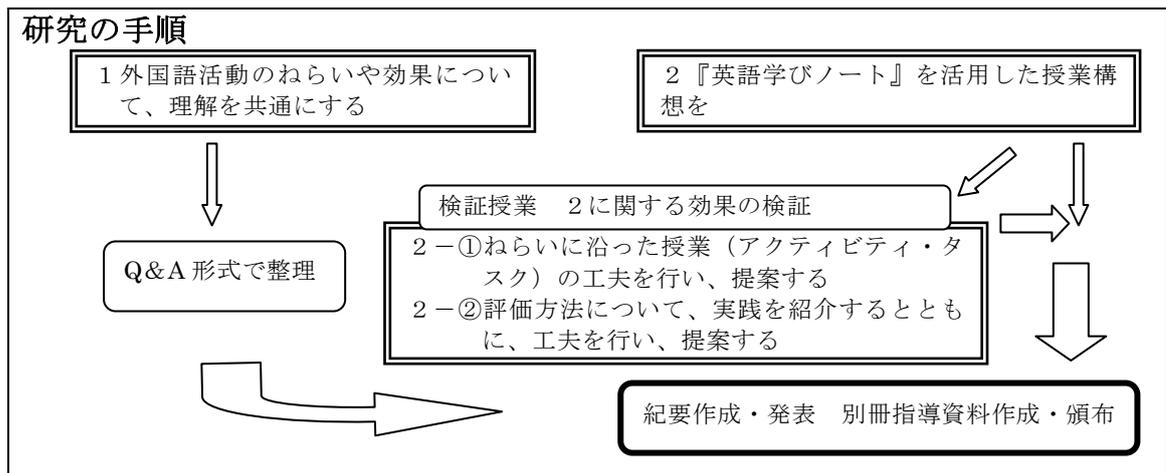
研究の内容

【つなげ、広めるための研究として】

- 1 外国語活動のねらいや効果について、理解を共通にする
- 2 『英語学びノート』を活用した授業構想を提案し、広げる

【深め、広めるための研究として】

- 1 - ①ねらいに沿った授業（アクティビティ・タスク）の工夫を行い、提案する
- 2 - ②評価方法について、実践を紹介するとともに、工夫を行い、提案する



IV 具体的な提案および実践

1 「外国語活動のねらいや効果について、理解を共通にする」取組について

(1) 取組に当たって、工夫を検討した事柄

【共通理解が図られていない事柄について】

小学校学習指導要領に、目標や内容・内容の取扱いが示され、文部科学省から「英語ノート」が配られているが、どのような方法で指導するか、どの程度まで指導するか等、具体的な指導のイメージはまちまちである。

教師のモチベーションに大きな差異があることを考えると、小学校学習指導要領に示されている「目標」や「内容」の重要性についての理解の段階から、課題を有する。とすれば、ねらいや目標が明確にならず、当然、指導過程や指導方法、教材の使い方等もまちまちになってしまう。

【取り上げる事柄の精選について】

理解を共通にすべきことは、根本的なことから始まり多岐にわたる。本研究部では、教師が日々実践しながら感じる喫緊の不安に視点を定め、以下の点について理解を広めていくために発信していく。

- ① 教師の英語への苦手意識
- ② 自信がない中で授業を進める不安
- ③ 小学生に求めるスキル
- ④ AET との連携
- ⑤ 教材・教具の工夫
- ⑥ 歌やアクティビティ（タスク）の工夫
- ⑦ 環境整備
- ⑧ 1 単位時間の学習過程
- ⑨ 評価方法

【整理の仕方について】

共通理解の不十分さ、教師の不安やとまどいを問題視する見方は、以前からあった。関連する書籍や資料も多くあり、様々な研修会でも話題にされてきたことである。そこで、本研究部では、Q&A 形式で10の設問に絞り、かた苦しなく・わかりやすい言葉で・具体的にまとめていく。それを、別冊としてまとめる指導資料冊子に一資料として掲載し、発信していく。

(2) 提案内容

Q 1 英語は苦手なんですけど、教えることができるのでしょうか？不安です。

A 初めの一声に勇気がいるのですよね。職集で、みんなで声に出すことに慣れるための取組をしている学校もあります。AETとあいさつをかわしてみましょ。指導場面としては、まずは、短くてよく使うクラスルームイングリッシュから始めてみてはどうですか？一歩を踏み出せば、大丈夫です！

Q 2 自分の英語の発音に、自信がありません。どのように授業を進めたらいいですか？

A 上手でなくていいのです。AETが言った英語を繰り返してみるのもよいでしょう。進んで英語を使っている姿を子ども達に見せることが大切です。授業については、「英語ノート」の教師用資料に活動の流れも紹介されています。発音はAETとのTTで役割を決めたり、CDを有効に活用したりしましょう。電子黒板も優れモノです。今回は、『英語学びノート』を有効に使う授業資料をお届けします！

Q 3 小学校卒業までに、英語ができる子に育てるっていう訳ではありませんよね！？

A もちろん、そういうわけではありません。小学校学習指導要領に示されているように、目標は①外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深めること、②積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図ること、③外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませること、でコミュニケーション能力の素地を養うことですので、この目標について、具体的に子どもどのどのような活動と姿をイメージするのか、校内研修などで話し合い理解を共通のものにする必要は大いにあると思います。

Q 4 普段、職員室などでAETさんに、ちょっと話しかけれません・・・。

A 毎日来てくれているわけでもありませんし、言葉でうまく表現できませんが、何か距離感があるのでしょうか…。英語に自信がないときは、日本語で話しかけてもいいし、筆談でもいいでしょう。まずは、自分から声をかけていきましょう！新しい学校に来て、AETも不安な気持ちでいっぱいのはず、みんなで声をかけ、迎えましょう。

Q 5 担任とAETの役割分担は、どうしたらいいですか？（打合せ・時間の確保 含）

A 正直慣れるまでは、担任とAETとのコミュニケーションが取れるよう一緒に授業を進めることが大切です。2・3ヶ月経ってお互いの呼吸というか様子がわかかってきたら、担任が進行役になる割合を増やしていけばよいと思います。アクティビティをこんなふうに、という担任の思いが大切です。

授業計画については、「英語ノート」の英語版もあるので、日本語版と照らし合わせながら役割を確認するとよいでしょう。（今回の資料は、「英語ノート」教師用資料の簡略版としても使えると思います。）

打合せ時間の確保は、常に課題です…。当日の朝、授業の直前ということも少なくありませんよね。次週の内容をコピーしておいて、「ここをやるよ」「この場面をお願い」というチェックをして渡しているという実践もあるようです。

Q 6 やりたいことがあっても教材・教具がどこにあるかわかりません。どこで手に入りますか？

A 「英語ノート」の資料CDには、プリントアウトしてすぐに使える素材がたくさん入っていますね。インターネットで検索すると、たくさんの教材が出されているのがわかります。どんなものを使っているか学校間で情報交換をしませんか？

Q 7 子どもが盛り上がるアクティビティがあれば教えてください？（選び方・観点）

A まずは、「英語ノート」に紹介されているアクティビティ・タスクを取り入れていけば、基本的な形で進められると思います。工夫していく視点としては、クラスでのレクを工夫するときのようなイメージでしょうか。発達段階を含め子ども達の実態から、みんなで楽しめるように、そして、一人一人が多く友達と多くの場面で、関わりあいながら楽しめるよう工夫しますよね。同じように工夫していくことで、より自然な発話が生まれると思います。“日本語でやって楽しくないアクティビティは、英語でやっても楽しくない”ということをお教えいただいたことがあります。

Q 8 教室掲示や英語ルームの整備は、どのように工夫していますか？

A 曜日や天候、気分、数等のイングリッシュカードを、各教室で使えるようにしたり、コミュニケーションのポイントを掲示したりしている学校が増えてきたようです。

英語ルームは、活動的なアクティビティができるくらいのスペースがあるといいですね。イスに座った方がいい活動や、書く活動もあるでしょうから、軽い丸イスや生活科で使うようなボードが揃っているとよいと思います。視聴覚機器としては、テレビ・DVDプレーヤー・CDデッキ、できれば電子黒板セット。そこに行くと、子どもが「英語を使うんだ」という気分になれる、教師にとっては、そこに行けば教材が揃っていてすぐに授業ができる、という空間を目指したいですね。

Q 9 授業計画は、どのように立てればいいですか？

A 授業の流れを毎回変えるのではなく、ある程度「型」を決めておくとういでしょう。例えば、歌→チャンツ→スキット練習→ゲーム(アクティビティ)→絵本→振り返りといった流れです。基本的な流れを作っておくことでAETとの打合せの負担を減らすことにもつながります。

Q10 評価は、どのようにすればいいですか？

A 「～できる」ではなく、関心・意欲・態度や、友達との関わりを大事にしながら進歩の状況等を評価しましょう。

外国語活動の目標

「外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う」とある。

次のような文例を考え、評価に臨んでいる学校もあるようです。

○AETの言葉を注意深く聞き、英語の歌やゲームに積極的に取り組んでいました。

○友達に英語で質問したり、英語で答えたりして、英語でコミュニケーションをする楽しさを感じながら意欲的に活動していました。

○表情豊かに、ジェスチャーをつけて、英語でのあいさつや自己紹介に積極的に取り組んでいました。

○英語で数を数えたり、数字を使ったゲームを楽しんだりして、英語に関心を持って取り組んでいました。

2 『英語学びノート』を活用した授業構想の提案について

(1) 取組に当たって、工夫を検討した事柄

【『英語学びノート』の活用について】

- 学習活動を構成するベースは、「英語ノート」の内容にしていく。今ほとんどの学校が指導計画のよりどころにしていると言って過言ではない「英語ノート」の活動内容に『英語学びノート』の内容を取り入れていくことで、現状にあった、使いやすく、独自の工夫を加えやすい資料作りができる。
- 1 単位時間ごとの授業構想を指導案形式にまとめ、指導資料化した形で提案を行う。
- 5 年生 3 5 時間・6 年生 3 5 時間、計 7 0 時間分の題材開発を行いたいところだが、本研究部では、5 年生「英語ノート」Lesson1~9の 3 5 時間分を扱っていく。
- 指導案は、「英語ノート」の教師用指導書に準じる形式で作る。そうすることで、普段の見慣れた形式で活動を見通すことができる。また、「英語ノート」の指導計画と比較でき、使い手が活動をセレクトしやすい。授業を自分なりに構想していくことにつながる。
- 指導案を作成する際には、『英語学びノート』を活用するポイントに共通のロゴを入れ、一目でわかるようにする。

≪『英語学びノート』活用ポイントのロゴ≫



- 指導案を作成する際には、短時間で目を通して活動がイメージできる程度の文字量で作成する。そうすることで、『英語学びノート』の活用というばかりでなく、「英語ノート」指導資料の簡略版としても活用でき、教師の「やってみよう」「つかってみよう」という気持ちを高めていくことに一役買える。さらに、電子データ化した本提案資料も提供できるようにすることで、独自に加工しやすい「英語ノート」に沿った資料を各校に渡せることにもなる。
- 『英語学びノート』の活用ポイントが、題材や時間によって大きくちがっては使いやすさとはいえない。単元計画や 1 単位時間の学習過程の中での活用ポイントについて、次のように基本方針を定めておく。

DVD の構成内容	活 用 の 仕 方
Mime(マイム)	単元の導入・第 1 時の導入時に活用する。内容を予想させることで、単元の学習についてイメージを膨らませるとともに、興味・関心を高める。
Skit(スキット)	基本的に、単元の導入第 1 時と単元の終末第 4 (3) 時で活用する。単元の導入時では、①マイム同様、学習内容の予想や興味・関心を喚起する、②ネイティブの発音・会話に慣れさせる。③単元導入の時点で内容をどの程度理解し楽しめるか把握する、という視点で活用する。単元の終末では、単元導入時と比べどの程度内容を理解し楽しめるようになったか、児童自身の自己評価や教師自身の指導の振り返りに活用する。
Basic(ベーシック)	毎時間、メインとなるアクティビティやタスクの前に活用する。学習のねらいとなる単語や文について、繰り返し聞き、ネイティブの発音・会話に慣れさせる。単元によっては、終末 (第 3 時または第 4 時) に、内容を理解し楽しめるようになったか評価 (自己評価を含む) する活動にも活用できる。
Flash chant (フラッシュチャンツ)	毎時間、メインとなるアクティビティやタスクの前に活用。チャンツとして学習のねらいとなる単語や文の練習をする。
[日本語と英語][所沢自慢]	単元の終末、まとめの段階で、国際理解教育の視点で積極的に活用する。
一言英会話	主に導入や終末で活用する。英語に対する興味・関心を高め、可能なものはクラスルームイングリッシュに取り入れていく

【研究内容 2-①アクティビティ・タスクの工夫について】

- 友達との関わりの中で、自然な必要感から数多くの発話を生むよう、工夫を行う
- 自己開示・他者理解につながるような要素を入れられるよう、工夫を行う

【研究内容 2-②評価方法の工夫について】

- 英語活動の楽しさが味わえたか (Did you enjoy it?) と、コミュニケーションを図る上での 3 つの要素 "Eye contact" "Clear voice" "Big action" について振り返る
- 『英語学びノート』の Basic(ベーシック)を終末での自己評価に活用していく

(2) 効果を測る検証授業

①学習指導案

5 学年 2 組 外国語活動指導案

平成 21 年 11 月 27 日 (金) 第 6 校時

活動場所 多目的室 (English Room)

児童数 男子 14 名 女子 13 名 計 27 名

授業者

1 単元名 自己紹介をしよう (好き嫌いをたずねてみよう)

2 単元について

(1) 児童の実態

本校では、今年度 5・6 年生において年間 19 時間の英語活動の時間を位置付けている。昨年までは、年に数回 AET の先生と触れ合うに留まっていたため、児童にとって英語活動はまだ身近なものにはなっていなかった。学校以外の場所で英語に触れている児童も少なく、「何を言っているのか分からない」と抵抗を持つ児童も多かった。

しかし、授業時間数を増やし、英語を聞いたり発音したりする機会を重ねていくと、子どもたちも次第に英語に慣れ、自信をつけてきた。あいさつやゲーム、歌など単純なことの繰り返しだが、児童にとって心地よいものになりつつあり、「先生、もう一回やろう!」「もっと速く歌ってみたい」などと、意欲的に活動に取り組んでいる。

明るい雰囲気の中でゲームなど単純な活動を繰り返し行い、英語をたくさん使わせることで、児童の英語への興味・関心を高め、より楽しんで活動できるようにしていきたい。そして、積極的に外国語でコミュニケーションを図ることのできる児童を育てたい。

(2) 教材について

本単元では、すでに学習した「自分の名前」に「自分の好きなもの」を加えた自己紹介をすることを最終ゴールの活動とする。好きなものは、児童にとって身近な食べ物・飲み物・動物・スポーツに限定している。さらにその中で扱う語は、児童がすでに外来語等として触れたことのある語を取り上げる。外来語とそのもとになる語とを比較させ、発音は似ていても、正しくは日本語と英語ではその音に違いがあることに敏感に気付かせ、チャンツやゲーム等で繰り返し触れる中で、自然と聞いたままに言えるように指導する。また、友達同士で普段の生活であまり話すことのなかった話題について情報交換することで、互いの理解を深め、良好な人間関係作りにもつなげたい。

(3) 指導について

児童は、キー・ワード・ゲームやチャンツなどを通し、単語に繰り返し触れる中で、英語の発音に次第に慣れてきている。身近な単語ばかりであるため、聞き取りに関してもさほど抵抗はないようである。ところが、Do you like～?や I like～./I don't like～.などのフレーズには、まだ戸惑いを感じている児童も多く、とたんに声が小さくなったりする。ここでは、正しい文法にこだわりすぎて児童が委縮することのないよう、できるだけ単純なやりとり

したり、同じフレーズを繰り返し言わせたりするなどの工夫をしていきたい。児童の「伝えたい」という思いを大切に、形式的でない気持ちのこもったコミュニケーションが図れるように配慮していきたい。

3 単元目標

- ・日本語には、様々な英語が起源の言葉（外来語）があることに気づく。
- ・友達と積極的に好き嫌いを確認し合う。
- ・英語で自分の好き嫌いを相手に伝える。

4 評価規準

- ・単語の発音の違いに気づいている。
- ・英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。
- ・英語で自分の好き嫌いを相手に伝えようとしている。

5. 単元計画

第1時	<ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Listen だれが何を好きか聞き取ろう ・ Let's Play キー・ワード・ゲーム ・ Let's Chant ♪Do you like apples?♪
第2時	<ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Chant ♪Do you like apples?♪ ・ Let's Listen 好き嫌いを聞き取ろう ・ Activity 好みを予想しよう ・ Activity 自分の好きなものを描こう
第3時 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Chant ♪Do you like apples?♪ ・ Activity 1 友達に好きか嫌いかたずねよう
第4時	<ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Chant ♪Do you like apples?♪ ・ Activity 2 自己紹介をしよう

6 本時の活動 (3 / 4時)

(1) 本時の目標

- ・英語を使って、好き・嫌いを相手に尋ねたり答えたりしようとする。

(2) 英語表現

○主な表現 Do you like～? Yes, I do./No, I don't.

I like～.

○主な語句 apple, banana, pineapple, strawberry, bird, cat, dog, rabbit, fish, ice cream
juice, milk, baseball, skiing, soccer, swimming

(3) 展開

過程 (分)	児童の活動	指導者(担任)の活動	●指導上の留意点 ◆国際理解の視点 ◎評価 ☆DVD活用のポイント	教材等
あいさつ・導入 (3)	1 あいさつ ・担任に挨拶を返す。 Hello,teacher. I'm fine,thank you. And you? 2 本時のめあてを知る。	Hello,everyone? How are you? I'm fine,too. Thank you. Let's bigin! 3 points "Eye contact" "Clear voice" "Good communication"	●にこやかにあいさつし、明るくコミュニケーションが取りやすい雰囲気を作る。 ●活動の際に気をつけるポイントについて確認する。 「相手の目を見て話す」 「はっきりした声」「積極的に会話する」	探検バッグ(児童) 3 pointsカード めあて

英語で好きなものをたずねたり、答えたりしよう!

『英語学びノート』の活用①

復習 (7)	3 【Let's Chant】 ・DVDの音声に合わせて、チャンツを言う。	Let's Chant! <DVD> "What sports do you like?" Soccer,soccer. Do you like soccer? Baseball,baseball. I like Baseball. Swimming,swimming. Do you like swimming? Skiing,skiing. I like skiing. Basketball,basketball. Do you like basketball? Judo,judo. I like judo.	●全てのカテゴリーのチャンツを言う。 (動物・果物・飲み物・スポーツ) ☆「フラッシュカード」を一時停止しながら再生し、よく聞きとらせてから発音させる。 慣れてきたら、指導者の発音で他の単語についても同様に行う。 (スピードアップ) ◆外来語との違いを実感させ、言語の多様性に気付かせる。 ◆ジェスチャーや声のトーンにも気をつけさせる。	英語学びノート Tokorozawa 英語DVD DVDプレーヤー 絵カード
-----------	--	--	--	--

『英語学びノート』を活用したチャンツの様子





【Activity 2】活動の様子

・自分と同じものを好きな友達が、どれくらいいたか発表する。

"What do you like?"
"Who likes it?"
"How many people like it?"

- 友達の好きなものを聞く活動を通して、お互いを理解しようとする心を育てる。
- ◆ 人によって好みが違うことに気付かせる。
- 積極的にインタビューできた児童を称賛する。

シール

『英語学びノート』の活用②&研究内容2-②評価方法の工夫

あいさつ (5)

6 振り返りをする
・DVDを見て、話の内容を予想する。(ベーシック)

- ☆ 「ベーシック」を見て、どんなことを言っているのか考えさせる。2度見せ、ワークシートで確認する。(「英語ノート」p.26に類似した形で)
- ◎ 今日の内容がわかったか、自己評価させる。
- 振り返りで、コミュニケーション活動の楽しさを味わえたか把握し、次時の活動改善に役立てる。

英語学びノート



ワークシート (自己評価も)

英語で好きなものをたずねたり、答えたりしよう!

<復習&反省シート>

名前 ()

★DVDを見て、好きなものには○、きらいなものには×を書き入れましょう。

	baseball	soccer	swimming

★今日の学習をふり返ってみよう★

- ◎よくできた・よくわかった
- できた・わかった
- △あまりできなかった・あまりわからなかった

3つのポイントに気をつけて活動できたか。	友達に好き嫌いをたずねたり、答えたりできたか。	今日の学習は、よくわかったか。



自己評価・振り返り活動の様子

7 あいさつ
Good bye, teacher.

・めあてを振り返る。
Did you enjoy English?
"Eye contact"
"Clear voice"
"Good communication"

That's all for today.
Good bye, everyone.



②研究協議会記録より

ア 授業の構想と授業者の振り返り

☆アクティビティについて☆

- ・ アクティビティ1のチェンゲームは、基礎となるスキットをきちんと言わせるため、競争にはしなかった。2回戦やらせることで、定着させるようにした。
- ・ 色々な友達に声をかけさせたいという思いから、アクティビティ2の会話文はシンプルにした。1回やった後にもう一度会話文を確認して、2回目を行ったので、2回目のほうが上手に言えていた。

☆『英語学びノート』について☆

- ・ 今回は2か所に『英語学びノート』を活用した。前日にDVDを使ってチャンツをやってみた。一時停止をしてリピートさせたり、タンバリンを使ってリズムをとったり工夫することで、児童はよく聞き取れていて、リズムにもものれていた。

☆評価について☆

- ・ まとめの部分にも『英語学びノート』を入れ、ワークシートに振り返りと内容理解を把握するために答え合わせまで入れたが、どうだったか。

☆その他☆

- ・ 男女問わず、また参観の先生方も含め、色々な人とコミュニケーションが図れてよかった。予想以上に児童はコミュニケーション活動に取り組んでいた。

イ 協議から

☆アクティビティについて☆

<効果>

- ◎ 2つのアクティビティのバランス、つながりを考えて組みこむことで、児童が戸惑いなく活動できた。学習の流れがはっきりしていた。

☆DVDについて☆

<効果>

- ◎ ベーシックは理解度をみるためにも有効である可能性を見つけることができた。
- ◎ ベーシック、チャンツなど、児童は郷土素材、AET、映像、リズムにかなり引きつけられていた。また、繰り返し使うことで、定着を図ることができた。
- ◎ 『英語学びノート』を授業のどこで使うと効果的か高いかが見えてきた。
- ◎ 授業の中に『英語学びノート』を上手く組み入れることができた。『英語学びノート』に合わせたワークシートも有効だった。
- ◎ 実際の授業の場面で『英語学びノート』がどのように使えるかが見えてきたことで、『英語学びノート』の改善できる点も明らかになりつつある。

<より効果的にするための視点>

- リズムをとるためにタンバリンを使用した。その他、キーボードや手拍子など

も使える。担任のアレンジや工夫が加わると一層効果的である。

☆評価について☆

<効果>

- ◎ 最後の自己評価で、ワークシートに「英語ノート」(P.26)の型を使ったため、児童が戸惑いなく書き込めていた。

☆その他☆

<より効果的にするための視点>

- 3 points for communication の明確な提示について工夫する必要がある。
- デモンストレーションを、オーバージェスチャーで示したらよかった。

ウ 所沢市教育委員会 結城指導主事より指導講評

・本日の授業で注目すべきは、『英語学びノート』を授業構成の中に組み入れ、その可能性を見出したことは大きな成果である。喜田先生の視点や工夫が優れている。これが児童の実態を的確に把握している担任だからこそできる工夫である。また、評価の観点を『英語学びノート』を使って取り入れようとした点については今後も研究の余地が十分にある。ワークシートも児童が短時間で取り組めるものであった。

・小学校の先生はアイデアが豊富。デリバリーの授業も含め、先生方の授業は、工夫にあふれ、場の設定やかかわりを通して、児童の心を引きつけていた。教師と児童、児童同士の英語を通してコミュニケーションは温かなコミュニケーション能力の素地を育む可能性を感じることができた。

・一層グレードアップさせるため、クラスルームイングリッシュを徐々に取り入れていくことで児童の意欲の向上につながる。毎日少しずつ英語を取り入れていく。また、授業での英語の指示は、サンドイッチ方式が有効である。指示をするとき、英語で挟む。(英語→日本語(説明)→英語)

・今回の『英語学びノート』のねらいは、これまでの『英語学びノート』とは、一味違う。家庭学習でも、授業でも使えるものである。ふるさと所沢を愛する心を育む温かい内容になっている。しかも、その構成は、「英語ノート」に対応し、市内のAETとキャラクターが英語を通してコミュニケーションを図っている。担任の先生が、DVDをテレビに映し出すだけで、マイム、フラッシュチャンツ、ベーシック、スキット、おまけ(所沢紹介)など活用価値は十分にある。所沢市独自の『英語学びノート』の活用を通して、教育目標である3つの宝のうちの一つ「ふるさと所沢を愛する心」を育むという目的も含まれている。まずは、『英語学びノート』をすべての授業で使ってもらえるよう研究部の先生方のご意見を伺いながら、一層いいものとしていきたい。

(3) 提案内容

5年生35時間分について、「英語ノート」1 Lesson1~9の内容を基に、『英語学びノート』を活用した授業計画を作成した。Lesson5の4時間分を抜粋し、次に示す。

1 単元名「Lesson5 いろいろな衣服を知ろう」(全4時間)

2 本時の学習【1/4時】

(1) 目標

○世界には様々な衣服があることを知り、その言い方を理解する。

(2) 英語表現

○主な表現 Do you like blue? Do you have pink shoes? Yes I do, / No, I don't.

○主な語句 色:red, blue, yellow, orange, pink, green, black, white

衣服:T-shirt, sweater, pants, socks, shoes, cap

(3) 展開

過程 分	児童の活動	指導者の活動		教材	
		学級担任	AET		
あいさつ 導入 (5)	1 あいさつをする。 Hello, ~sensei. I'm fine. Thank you. And you? 2 本時のめあてを知る。	Hello, Everyone. Let's begin! 3 points for good communication "Eye contact" "Clear voice" "Big action"	How are you today? I'm fine. Thank you.	●にこやかにあいさつし、明るい雰囲気を作る。	めあての提示
展開 ↑ ○	3 DVDを見る (Skit)  ・単元全体の見通しを持つ。 4 DVDを見る。 (Basic)  ・DVDを見て、担任やAET、自分たちの着ている服について話し合う。	・DVDを見た後、登場人物や話の内容について質問をする。 ・互いに着ている衣服について、話をする。 ・好きな衣服や嫌いな衣服についても話をする。		☆学習内容の予想や興味・関心を喚起する。 ☆単元導入の時点で内容をどの程度理解し楽しめるか把握する。 ☆内容を予想させることで、単元の学習についてイメージをふくらませるとともに、興味・関心を高める。	

<p>展開 ↑ ○</p>	<p>5 「英語ノート」を見て、色や衣服について話し合い、英語の言い方を知る。</p>	<p>・「英語ノート」p.31を開けるように指し示す。 How many people are there in the lobby? Let's count together. Where is this? What color is this?</p>	<p>●絵カードを黒板に貼りながら、それぞれの衣服の英語を紹介する。 ●チャイナドレスやチマチヨゴリだけでなく、世界の国々の伝統的な衣服を写真などで示す。主に特別なときに着用することを理解させる。 ◎世界には様々な衣服があることを理解する。 <行動観察></p>	<p>絵カード ・色 ・衣服 写真</p>
<p>展開 (10)</p>	<p>6 【Let's Listen】 ・CD の会話を聞いて、英語ノートp.31のどのペアが話しているかを聞き取る。</p>	<p>・児童に英語で尋ねる。 Look at the people here. A boy and girl. Two ladies are talking. An old man and an old woman are sitting on the sofa. Can you find a yellow star? Can you find any ribbons?</p>		<p>CD 「英語ノート」</p>
<p>展開 (10)</p>	<p>7 【Activity】 ・担任と AET のやりとりを聞いて、2人が着たい衣服を考える。 ・「英語ノート」の絵カードに色を塗る。</p>	<p>・絵カードを黒板に貼りながら、どんな服を着たいかを互いにやりとりしながら紹介する。 H: I like red. So I have a red T-shirt. Do you like red? A: No, I don't. I don't like red. But I like blue. So I have blue T-shorts. ・「英語ノート」p.32の男女に着せた衣服を考え、巻末絵カードに色を塗るよう指示する。</p>	<p>●自分たちが好きな色や嫌いな色の衣服を紹介しながら、I like ~. I don't like ~.の表現に慣れさせる。 ●児童が絵を描いている間、個別に Do you like ~?などと声をかける。 ◎話に興味を持って聞き、様々な衣服の言い方を理解しようとしている。 <行動観察></p>	<p>「英語ノート」 絵カード ・衣服</p>
<p>まとめ (5)</p>	<p>8 振り返りをする。 ・振り返りに挙手や発表をする。 9 あいさつをする。 ・AET に挨拶をする。 Good bye, ~sensei.</p>	<p>・めあてを振り返る。 Did you enjoy? "Eye contact" "Clear voice" "Big action" That's all for today. Good bye, everyone. See you.</p>	<p>◎振り返りで、コミュニケーション活動の楽しさを味わえたか把握する。</p>	

1 単元名「Lesson5 いろいろな衣服を知ろう」(全 4 時間)

2 本時の学習【2/4時】

(1) 目標

○自分の意見をはっきりと言うことの大切さに気付くとともに、好きな衣服を買う場面で使われる表現を知る。

(2) 英語表現

○主な表現 Do you like blue? Do you have pink shoes? Yes I do, / No, I don't.

○主な語句 色:red, blue, yellow, orange, pink, green, black, white

衣服:T-shirt, sweater, pants, socks, shoes, cap, have

(3) 展開

過程分	児童の活動	指導者の活動		●指導上の留意点 ◆国際理解の視点 ◎評価 ☆DVD の活用ポイント	教材
		学級担任	AET		
あいさつ導入 (10)	1 あいさつをする。 Hello, ~sensei. I'm fine. Thank you. And you?	Hello, Everyone. Let's begin! 3 points for good communication "Eye contact" "Clear voice" "Big action"	How are you today? I'm fine. Thank you.	●にこやかにあいさつし、明るい雰囲気を作る。	
	2 DVDを見る。 (Flash card)  ・チャンツを言う。	・DVDを見ながらともにチャンツを言う。 apple, red apple, big red apple cat, black cat, small black cat skirt, pink skirt, long pink skirt gorilla, purple gorilla, happy purple gorilla fish, blue fish, hungry blue fish		☆学習のねらいとなる単語の練習をする。 ●チャンツを言った後、色と衣服を組み合わせたチャンツをして、本時のめあてにつなげる。	 絵カード ・衣服 めあて
	3 本時のめあてを知る。	衣服を買うための表現を知ろう！			

展開 (5)	4 担任とAETの好きな衣服のデザインについて話を聞き、質問に答える。	<ul style="list-style-type: none"> 互いに好きな服装のデザインを紹介し合うように言う。 英語の p.32 を開け、男子か女子に、あらかじめ絵カードに色を塗ったものを、紹介しながら貼っていく。 	●服だけでなく、色についても児童に質問しながら話をする。	絵
展開 (10)	5 【Activity】 ・前時に色を塗った絵カードを「英語ノート」p.32 の男子(女子)の上のせて、衣服をデザインする。	・前時に色を塗った絵カードを「英語ノート」p.32 の男女の上に置き、ペアで互いに、自分が考えた服装のデザインを紹介し合うように言う。	<ul style="list-style-type: none"> ●質問に答える活動を体験させ、応答力を高める。 ◎1対1で質問をされた際に、自分の思いを伝えようとしているか。 	CD 「英語ノート」
展開 (5)	6 【Let's Listen】 ・CDを聞き、わかったことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・CDを聞いてわかったことを尋ねる。 How many T-shirts/pants/skirts/shoes/socks are there? What color is the cap/hat? Does the girl like yellow shoes? 	●いきなりCDを聞かせるのではなく、「英語ノート」p.33を見て、いくつか質問をしてから取り組むとよい。	「英語ノート」 CD
展開 (10)	7 【Activity】 ・絵カード p.67 に色を塗り、自分の衣服カードを作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物用の意をするように告げる。 ①絵カードを切り取り、それぞれに好きな色を塗る。 ②Activityで使用した絵カードをあわせて持っておくとよい。 	●児童に質問し、1対1のやりとりを通して、自分の意見をしっかり言葉で表現させるようにする。	絵カード ・衣服
まとめ (5)	8 【Let's Chant】 (Flash chant)  ・DVDを見てチャンツを言う。	・DVDを見ながらともにチャンツを言う。	☆簡単に復習することができるようすばやく取り組む。	
	8 振り返りをする。 ・振り返りに挙手や発表をする。 9 あいさつをする。 ・AETに挨拶をする。 Good bye, ~sensei.	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを振り返る。 That's all for today. Good bye, everyone. See you. 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語活動の楽しさが味わえたか問う。 Did you enjoy? "Eye contact" "Clear voice" "Big action" Good bye, everyone. See you! 	◎振り返りで、コミュニケーション活動の楽しさを味わえたか把握し、次時の活動改善に役立てる。

1 単元名「Lesson5 いろいろな衣服を知ろう」(全 4 時間)

2 本時の学習【3/4時】

(1) 目標

○好みをはっきり言ったり、相手が気持ちよく買い物ができるような声かけをしたりして、買い物を楽しむ。

(2) 英語表現

○主な表現 Do you like blue? Do you have pink shoes? Yes I do, / No, I don't.

○主な語句 色:red, blue, yellow, orange, pink, green, black, white

衣服:T-shirt, sweater, pants, socks, shoes, cap

(3) 展開

過程分	児童の活動	指導者の活動		●指導上の留意点 ◆国際理解の視点 ◎評価 ☆DVDの活用ポイント	教材
		学級担任	AET		
あいさつ導入 (10)	1 あいさつをする。 Hello, ~sensei. I'm fine. Thank you. And you?	Hello, Everyone. Let's begin! 3 points for good communication "Eye contact" "Clear voice" "Big action"	How are you today? I'm fine. Thank you.	●にこやかにあいさつし、明るい雰囲気を作る。	
	2 DVDを見る。 (Flash chant)  英語DVD ・チャンツを言う。	・DVDを見ながらともにチャンツを言う。 apple, red apple, big red apple cat, black cat, small black cat skirt, pink skirt, long pink skirt gorilla, purple gorilla, happy purple gorilla fish, blue fish, hungry blue, fish		☆学習のねらいとなる単語や文の練習をする。 ●DVDでチャンツをした後、色と衣服を組み合わせたチャンツをして、本時のめあてにつなげる。	 英語DVD 絵カード ・衣服
	3 単元のめあてを知る。	買い物をしよう!			めあて
展開 (10)	4 【Let's Listen】 ・CDを聞く。 ・「英語ノート」p.33の絵を見せて、それぞれの場面に合った店員のせりふを考えて発表する。	・CDを聞かせ、買い物の場面での言い方を確認する。 A: Hello. Do you have~? B: Yes, I do No, I don't. A: Blue shoes, please. B: Here you are. A: Thank you.		●CDを聞いて買い物の場面でのやりとりを確認することにより、どの児童もスムーズに買い物ができるようにする。	「英語ノート」 CD

<p>展開 (15)</p>	<p>5 【Activity】 ・買い物ゲーム</p> <p>・店員と客との2グループに分かれる。店員は、絵カードを机に並べる。客は自分のほしい衣服など5種類(防止、上着、ズボン、スカート、靴下、靴)を集める。</p> <p>・すべてそろえば、発表用紙に貼り付ける。</p>	<p>買い物ゲームの仕方を説明する。</p> <p>児童は店員と客との2グループに分かれる。時間が来たら役割を交代する。</p> <p>各児童は1枚ずつ発表用紙をもらう。</p> <p>客役の児童は、5種類の衣服などを集め、もらった絵カードを発表用紙に貼る。</p>	<p>◎好みをはっきりと言い、自分のほしい衣服をもらう。 <行動観察・用紙点検></p> <p>◎相手が気持ちよく買い物ができるような声かけをしようとする。 <行動観察></p>	<p>絵カード 発表用紙</p>
<p>まとめ (10)</p>	<p>6 【Let's Chant】 (Flash chant) </p> <p>・DVDを見てチャンツを言う。</p> <p>7 振り返りをする。 ・振り返りに拳手や発表をする。</p> <p>8 あいさつをする。 ・AETに挨拶をする。 Good bye, ~sensei.</p>	<p>・DVDを見ながらともにチャンツを言う。</p> <p>・めあてを振り返る。</p> <p>・英語活動の楽しさが味わえたか問う。</p> <p>Did you enjoy? "Eye contact" "Clear voice" "Big action" Good bye, everyone. See you!</p> <p>That's all for today. Good bye, everyone. See you.</p>	<p>☆簡単に復習することができるようすばやく取り組む。</p> <p>◎振り返りで、コミュニケーション活動の楽しさを味わえたか把握し、次時の活動改善に役立てる。</p>	<p></p>

1 単元名「Lesson5 いろいろな衣服を知ろう」(全 4 時間)

2 本時の学習【4/4時】

(1) 目標

○聞き手に買ったものがきちんと伝わるように発表する。

(2) 英語表現

○主な表現 Do you like blue? Do you have pink shoes? Yes I do, / No, I don't.

○主な語句 色:red, blue, yellow, orange, pink, green, black, white

衣服:T-shirt, sweater, pants, socks, shoes, cap, have

(3) 展開

過程分	児童の活動	指導者の活動		●指導上の留意点 ◆国際理解の視点 ◎評価 ☆DVDの活用ポイント	教材
		学級担任	AET		
あいさつ導入 (10)	1 あいさつをする。 Hello, ~sensei. I'm fine. Thank you. And you?	Hello, Everyone. Let's begin! 3 points for good communication "Eye contact" "Clear voice" "Big action"	How are you today? I'm fine. Thank you.	●にこやかにあいさつし、明るい雰囲気を作る。	
	2 DVDを見る。 (Flash Chant) ・チャンツを言う。	・DVDを見ながらともにチャンツを言う。 apple, red apple, big red apple cat, black cat, small black cat skirt, pink skirt, long pink skirt gorilla, purple gorilla, happy purple gorilla fish, blue fish, hungry blue, fish		☆学習のねらいとなる単語や文の練習をする。 ●DVDでチャンツをした後、色と衣服を組み合わせたチャンツをして、本時のめあてにつなげる。	英語DVD 絵カード ・衣服 めあて
	3 単元のめあてを知る。	買った物を発表しよう！			
展開 (10)	4 【Let's Listen】 ・CDを聞いて、麻衣が何を買ったかを聞き取り、「英語ノート」p.35の衣服の絵と色を線で結ぶ。 ・スピーチを聞いて、スピーチをするとき大切なことを理解する。	・「英語ノート」p.35の絵を見ながら、CDを聞いて、麻衣が何を買ったかを聞き取り、衣服と色とを線で結ぶよう指示する。 Hello, I have a red T-shirts, blue pants, yellow socks, an orange cap, and white shoes. I like red. I don't like black. Thank you.		●CDのスピーチを聞き取るだけでなく、どのように発表しているかを理解させるようにする。 ●担任とAETがスピーチをして、児童にスピーチの仕方を理解させる。 ◆自分の伝えたいことを効果的に伝えるコミュニケーション能力を高める。	「英語ノート」 CD

<p>展開 (15)</p>	<p>5 【Activity】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチの仕方を確認する。 ・各自で練習する。 ・発表する。 ・発表の感想を言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に買ったものを発表用紙を見せながら、発表するように指示する。発表の仕方を確認する。 <ol style="list-style-type: none"> ①挨拶をする。 ②名前を言う。 ③買った衣服を紹介する。 ④好きな色、嫌いな色を紹介する。 ⑤挨拶をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・各自練習するように言う。 ・希望者から指名して発表させる。 ・発表についてコメントを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーチの仕方を確認することで、どの児童も自信を持って発表できるようにする。 <p>◎自分の買った衣服を紹介する。</p> <p><行動観察></p>	<p>発表用紙</p>	
<p>まとめ (10)</p>	<p>6 DVDを見る。 (Skit)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元全体の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・DVDを見た後、登場人物や話の内容について質問をする。 	<p>☆単元の導入時と比べどの程度理解し楽しめるようになったか、児童自身の自己評価や教師自身の振り返りに活用する。</p>		
	<p>7 DVDを見る。 (所沢自慢)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所沢のよさについて話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・DVDを見た後、話の内容について質問をする。 	<p>☆国際理解の視点で積極的に活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●知っている単語、表現を聞き取り、何について話をしているのか考えるように促す。 		
	<p>8 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りに拳手や発表をする。 <p>9 あいさつをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AETに挨拶をする。 <p>Good bye, ~sensei.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを振り返る。 <p>That's all for today. Good bye, everyone. See you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語活動の楽しさが味わえたか問う。 <p>Did you enjoy? "Eye contact" "Clear voice" "Big action" Good bye, everyone. See you!</p>	<p>◎振り返りで、コミュニケーション活動の楽しさを味わえたか把握し、次時の活動改善に役立てる。</p>	

V まとめ（成果と課題）

本研究では、冒頭より全編を通して述べてきたように、教師が不安や戸惑いをもちながら実

践にあたっている現状を、一刻も早く解消する一助となるべく、「これを使えば何とかできる」「これを使ってやってみよう」と思える実践的な資料提案を目指してきた。
成果と課題については、次のような点を挙げることができる。

1 成果

- (1) 所沢オリジナルの『英語学びノート』の良さを、教師の不安解消・軽減のために生かした授業づくりができた。
- (2) 1学年（5年生）分35時間について、一部ではなく、全時間を通した資料づくりができた。「使ってみよう。」と思う大きな要素を満たす資料ができたと考える。
- (3) 「英語ノート」の内容を基に、『英語学びノート』を活用する方針で授業づくりを行った。これにより、指導計画の工夫・改善に大いに役立つ1単位時間ごとの指導案を電子データで提供できる。

2 今後の課題

- (1) 提案した35時間分の全てに関しては、検証授業を行うことができなかった。実際に各校で使ってもらいながら、修正を加えていきたい。
- (2) 本研究は、あくまで、教師の不安の解消・軽減という喫緊の課題の解決のためにも有効である教材である。6年生35時間分についても英語学びノートスタッフと連携しながら、本当の意味での所沢オリジナルの指導計画作成に向け、地に足をつけ言語材料の吟味の段階からもう一度行っていく必要がある。
- (3) 『英語学びノート』小学校5年生版が間もなく完成する予定である。これまでは断片的に見ることしかできなかった。教材の特性を見極め、その素材の可能性を踏まえ、授業での活用を通して、児童の反応や変容、効果を検証していきたい。
- (4) 小中の連携の必要性が高まったことが挙げられる。今年度市内中学校すべての1年生に配布された英語学びノートと来年度完成予定の英語学びノートを使った授業連携や家庭学習についても研究していく必要がある。
中学校の英語の先生との情報交換、授業の相互参観、出前授業を通して、5年間を見通した英語教育推進計画を考えていくことも視野に入れていきたい。

本研究は、各校・各学級で実際に使われ、「良いものであった」という意見であれ、「これでは、どうも…」という意見であれ、反響があって初めて本当の成果があったといえるものである。1人でも多くの教師に実際に使ってもらいたい、指導計画づくりのたたき台データとして使ってもらいたいという、研究部一同の強い願いを述べて、結びとする。